

GALANTE

MECHANICAL

8L38・8L36

取扱説明書
INSTRUCTION

SEIKO

セイコーウォッチ株式会社

このたびはガラランテをお買い上げいただき、ありがとうございます。
SEIKO では、時計づくり 100 有余年の伝統と、世界に誇る先進技術の
すべてを注ぎ、製造・検査を実施しております。
ガラランテの優れた性能を保つために、この取扱説明書をよくお読みの上、
末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
この取扱説明書はお手もとに保管していただき、必要に応じてご覧ください。

※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、
弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくは
はお取扱いいただけない場合があります。

目次

■製品取扱上のご注意	4	■耐磁性能について(磁気の影響)	34
■メカニカルウォッチの特長(自動巻)	8	■時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例	35
■各部の名称	10	■ルミブライトについて	36
■りゅうずについて	12	■アフターサービスについて	37
■ぜんまいの巻きかた	13	■補修用性能部品について	38
■ご使用方法(8L38の場合)	15	分解掃除による点検調整(オーバーホール)について	39
■ご使用方法(8L36の場合)	16	■メカニカルウォッチの精度について	40
■ケース構造について	28	■バンドについて	42
■レザーバンド用ワンブッシュ三つ折れ方式中留の使いかた	29	■こんな時には	44
■お手入れについて	30	■製品仕様	46
■防水性能について	32		

■製品取扱上のご注意

警告 取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

・次のような場合、ご使用を中止してください
○時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
○バンドのピンが飛び出してきた場合
※すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください
部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。


注意 取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

・以下の場所での携帯・保管は避けてください
○揮発性の薬品が発散しているところ(除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど)
○5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ ○高湿度なところ
○磁気や静電気の影響があるところ ○ホコリの多いところ
○強い振動のあるところ

・アレルギーやかぶれを起こした場合
ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

・その他のご注意
○金属バンドの調整は専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
手や指などをケガする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
○商品の分解・改造はしないでください。
○乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。


警告



この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください
スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要なとされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウォッチをご使用ください。


6

注意




直接蛇口から水をかけることは避けてください
水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります


注意



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください
時計内部に水分が入ることがあります。
※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください
防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください
蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

7

■メカニカルウォッチの特長（自動巻）

- ・この時計は「ぜんまい」を動力に使用した、メカニカルウォッチです。
- ・止まった状態からご使用になるときは、りゅうずを20回手で巻いてぜんまいを巻き上げてから始動させてください。
- ・精度はクォーツウォッチが月差・年差であるのに対し、メカニカルウォッチは日差（一日あたりの進み・遅れ）となります。
- ・さらに、ご使用になる条件(携帯時間、温度、腕の動き、巻き上げ量等)によって微妙に影響を受けますので、誤差は一定ではありません。
- ・外部から強い磁気の影響を受けると、一時的に精度がズレることがあります。影響の度合いによっては、部品が磁化してしまうことがあります。その場合は、磁気抜き等の修理が必要となりますので、お買い上げ店にご依頼ください。

8

■キャリバー No. ご確認のお願い

●キャリバーについて

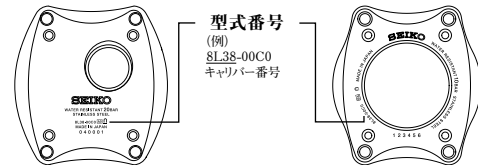
ムーブメント(時計の機械体)の型式を表す4桁の番号です。ガランテのメカニカルキャリバーは8L、スプリングドライブキャリバーは5Rから始まる4桁で表されます。

●確認方法

裏ぶたに記載の型式番号4桁がキャリバー番号となります。

(通常の裏ぶたの場合)

(シースルー仕様裏ぶたの場合)

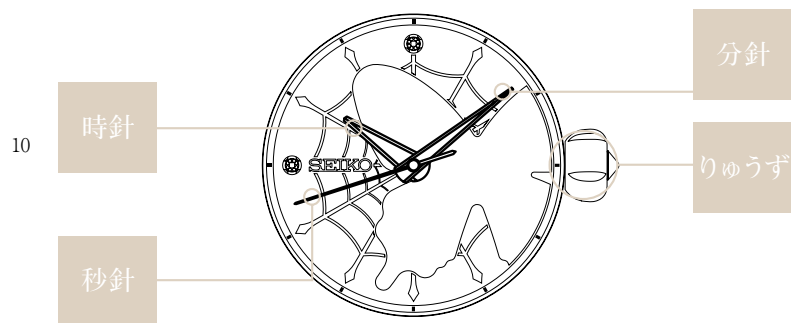


※上記の図は例であり、お買い上げたい時計とは異なる場合があります。

9

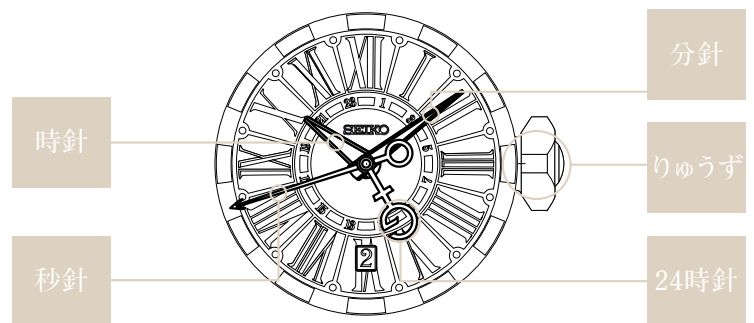
■各部の名称

・8L38



10

・8L36

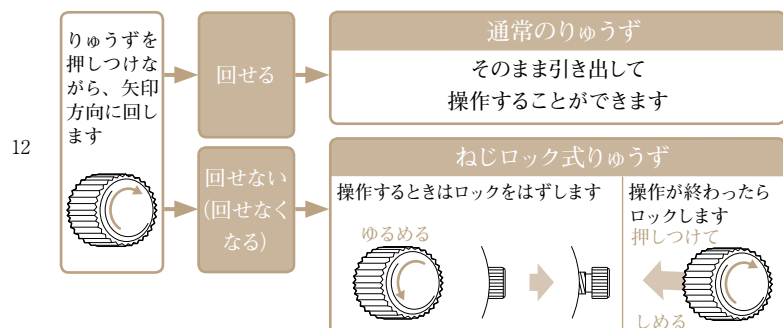


11

※表示の位置やデザインは、モデルによって異なる場合があります。

■りゅうずについて

りゅうずには、通常のものと同ロックできる構造のもの、2つのタイプがあります。お使いの時計のりゅうずをご確認ください。



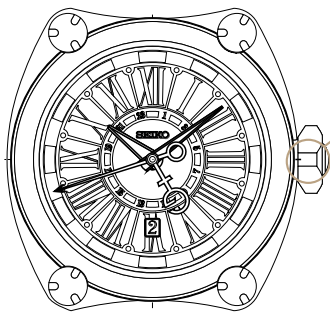
12

※ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。
※ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすおそれがありますので、ご注意ください。

■ぜんまいの巻きかた

1. この時計は、自動巻式機械時計(手巻き)です。
2. ぜんまいは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。またりゅうずを回してもぜんまいを巻くこともできます。
3. 止まっている時計をお使いになるときは、時計を振っても動き出しますが、りゅうずを回しぜんまいが十分に巻かれた状態にしまして、時刻を合わせてから腕にお付けください。ぜんまいを巻く際には、りゅうず0段位置で右回転方向に(12時方向)にゆっくりと回してください。なお、りゅうずは左方向(6時方向)では空回りするようになっています。また、ぜんまいはフル巻き上げ状態でぜんまいがスリップするようになっており、ぜんまいを切る心配はありませんが過剰な操作はお控えください。
4. ぜんまいが十分に巻き上げられた状態での可動時間は約50時間です。

13



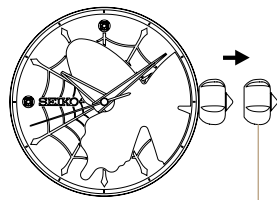
0 段目 (ぜんまい巻き上げ)
 ・右回転→ぜんまい巻き上げ
 ・左回転→空回り

※ぜんまいの巻き上げ量が不足すると進み遅れの原因になりますので、1日10時間以上携帯することをお勧めします。また、時計を腕につけないでご使用される場合は、毎日一定の時刻にりゅうずを回しぜんまいを十分に巻いてご使用ください。
 ※ぜんまいが解けて止まった状態からお使いの場合、りゅうずでぜんまいを巻き上げて直ぐには動きません。機械式時計の特徴でぜんまい巻き始めのぜんまいトルク(力)が弱いからです。ぜんまいが巻かれてある程度の強いトルクに達すると秒針が動き始めますが、早めに動かすためには、時計を振り、てんぶを強制的に回転させることで動かすことができます。

■ご使用方法 (8L38 の場合)

●時刻の合わせかた

1. りゅうずを1段目まで引き出してください。秒針が「12時」の位置にきたときに引き出してください。(秒針が止まります)
2. りゅうずを回転させ現在の時刻に合わせます。当ムーブメントは輪列機構上から時刻をあわせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。
3. 時報と同時にりゅうずを0段目まで押し込むと動き出します。



1 段目 (針回し)
 ・右回転→逆針回し
 ・左回転→正針回し

※時刻合わせは、電話の時報サービス 117 が便利です。

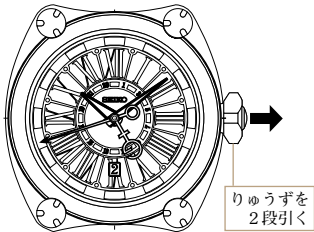
■ご使用方法 (8L36の場合)

●時刻・カレンダーを合わせるには

- ・時刻・カレンダーを合わせる時は、24時針と分針を最初に合わせ、その後で時針とカレンダーを合わせます。
- ・必ずぜんまいが巻き上げられた状態で、時刻合わせをしてください。

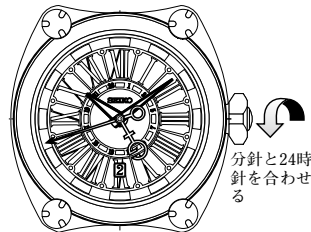
●時刻の合わせかた

1. ぜんまいが巻き上げられた状態で、時計が動いていることを確認します。
- ※日付・時刻を合わせるときは、必ず時計が動いている状態で行ってください。
2. りゅうずのロックをはずしてください。
 ⇒ ねじロック式りゅうずについて P.12 参照
3. 秒針が0秒位置にあるときにりゅうずを2段目まで引き出し、秒針を止めます



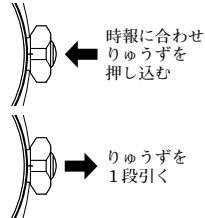
4. 時計回りに針が進むように、りゅうずを左に回し、分針と24時針に注目しながら時刻を合わせます。合わせたい時刻の手前から、分針をゆっくり進めて合わせてください。

※時針が、合わせたい時刻とは異なる時刻を指しているときや、時針の位置によってカレンダーの日付が変わることがありますが、まず先に、分針と24時針を合わせましょう。



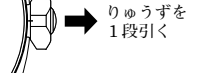
分針と24時針を合わせる

5. 時報などに合わせてりゅうずを押し込みます。
 ※これで24時針、分針、秒針が現在時刻に合った状態になります。



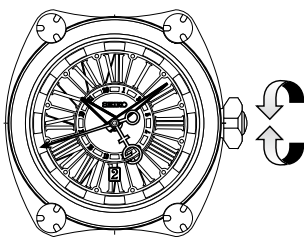
時報に合わせてりゅうずを押し込む

6. 次に、時針とカレンダーを合わせます。りゅうずを1段目まで引き出してください。



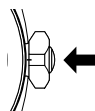
りゅうずを1段引く

7. りゅうずを回して時針を合わせます。りゅうずを回したときにカレンダーの日付が変わるところが午前0時です。午前・午後を確認して時刻を合わせましょう。カレンダーを合わせたいときは、ここで一緒に合わせてください。



※りゅうずはどちらの方向へも回せますが、できるだけ日付修正が少ない方向で合わせてください。
 ※りゅうずを回すときは、時針の1時間単位の動きを確認しながら、ゆっくりと回してください。
 ※時針を合わせているときに、他の針が少し動くことがあります。故障ではありません。

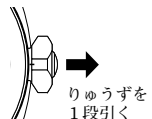
8. りゅうずを押し込むと操作は完了です。りゅうずをロックしてください。
 ⇒ ねじロック式りゅうずについて P.12 参照



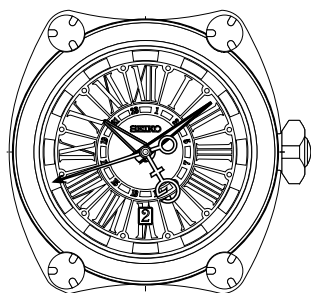
●カレンダーの合わせかた

カレンダーを合わせるには、時針を2周させて1日ぶんの日付修正を行います。時針を、時計回りに2周(24時間ぶん)回すと「日を送る」ことができます。逆に回すと「日に戻す」ことができます。
 ※小の月(2、4、6、9、11月)が終わった翌日などにカレンダー合わせを行ってください。

1. ぜんまいが巻き上げられた状態で、時計が動いていることを確認します。
- ※日付・時刻を合わせるときは、必ず時計が動いている状態で行ってください。
2. りゅうずのロックをはずしてください。
 ⇒ ねじロック式りゅうずについて P.12 参照
3. りゅうずを1段目まで引き出してください。
4. りゅうずを回して、時針を2周させるごとに、日付が「1日ぶん」修正されます。りゅうずを回したときにカレンダーの日付が変わるところが午前0時です。午前・午後を確認して合わせましょう。



りゅうずを1段引く



右(上方向)に回す:
 時針を2周させると日付が1日送られます。

左(下方向)に回す:
 時針を2周させると日付が1日戻ります。

※りゅうずはどちらの方向へも回せますが、できるだけ修正が少ない方向で合わせてください。
 ※りゅうずはゆっくりと回してください。
 ※時針を合わせているときに、他の針が少し動くことがあります。故障ではありません。

5. 操作が終わったら、時刻が合っているかどうかを確認してりゅうずを押し込んでください。これで操作は完了です。りゅうずをロックしてください。
 ⇒ ねじロック式りゅうずについて P.12 参照

※この操作では時針とカレンダーが連動して動きます。そのため、時刻の午前・午後が合っていないと、カレンダーが半日ずれることがあります。
 ※りゅうずはどちらの方向へも回せますが、できるだけ日付修正が少ない方向で合わせてください。
 ※りゅうずを回すときは、時針の1時間単位の動きを確認しながら、ゆっくりと回してください。
 ※時針を合わせているときに、他の針が少し動くことがあります。故障ではありません。

●24時針の使いかた

24時針には以下の2つの機能があります。

タイプ1：午前・午後を区別する

時分針が示す時刻を24時間制で表示する（通常の使いかた）

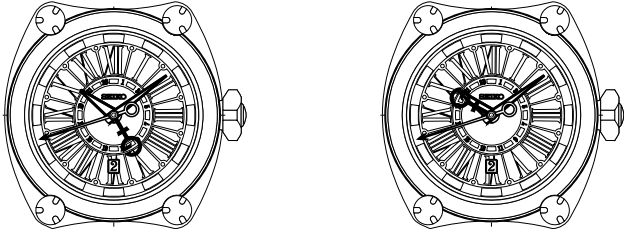
時分針、24時針ともに日本時間（午前10時）

タイプ2：デュアルタイムとして使う

時差修正機能を使って、時分針が示す時刻とは異なる地域の時刻を表示する（1時間以上の時差がある地域の時刻）

時分針：日本時間（午前10時）

24時針：ニューヨーク（午後8時）



●時差修正機能について

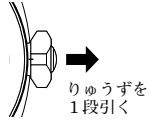
時差のある地域へ移動するときなどに、簡単に目的地の時刻に合わせられます。操作のときに時計を止めることはありません。

時針は目的地の時刻を示し、24時針は元の地域の時刻を示します。

時針はカレンダーと連動しているため、正しい操作が行なわれると目的地の日付を表示します。

●時差修正機能の使いかた

1. ゼンマイが巻き上げられた状態で、時計が動いていることを確認します。
2. りゅうずのロックをはずしてください。
⇒ ねじロック式りゅうずについて P.12 参照
3. りゅうずを1段目まで引き出してください。



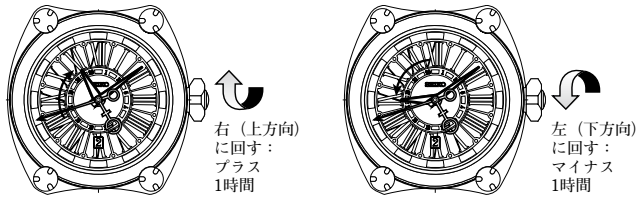
4. りゅうずを回して目的地の時刻に合わせます。

午前・午後、日付を確認して合わせましょう。

※ この操作では時針とカレンダーが連動して動きます。

時刻の午前・午後が合っていないと、カレンダーが半日ずれることがあります。

⇒ 世界の主な地域の時差一覧 P.26



※ りゅうずはどちらの方向へも回せますが、できるだけ修正が少ない方向で合わせてください。

※ りゅうずを回すときは、時針の1時間単位の動きを確認しながらゆっくりと回してください。

※ りゅうずを回したときにカレンダーの日付が変わるところが午前0時です。

※ 時針を合わせているとき、他の針が少し動くことがあります。故障ではありません。

5. 操作が終わったら、時刻が合っているかどうかを確認してりゅうずを押し込んでください。

これで操作は完了です。りゅうずをロックしてください。

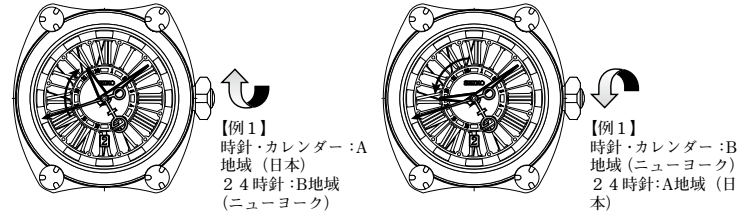
⇒ ねじロック式りゅうずについて P.12 参照

※ PM 9:00 ~ AM 1:00 の時間帯に時刻を合わせるときは、

時針をPM 8:00 まで戻してから合わせてください。

●目的別の使いかた

時差修正機能を使うと、2つの地域の時刻を表示させるデュアルタイムとしてお使いいただけます。表示のしかたは2通りあり、目的によって使い分けすることができます。



2. 4時針を合わせた後で、時針を合わせます。

■世界の主な地域の時差一覧

都市名	世界標準時 (UTC)	日本標準時 (JST)	その他の地域
東京	+9:00	± 0:00	ソウル
北京	+8:00	-1:00	香港、マニラ、シンガポール
バンコク	+7:00	-2:00	ジャカルタ
ダッカ	+6:00	-3:00	
カラチ	+5:00	-4:00	タシケント
ドバイ	+4:00	-5:00	
ジッダ	+3:00	-6:00	ナイロビ、メッカ
カイロ	+2:00	-7:00	★イスタンブル、★アテネ
★パリ	+1:00	-8:00	★ローマ、★ベルリン、★マドリッド
★ロンドン	± 0:00	-9:00	★カサブランカ
★アゾレス諸島	-1:00	-10:00	
★リオデジャネイロ	-3:00	-12:00	サンティアゴ
サントドミンゴ	-4:00	-13:00	

★ニューヨーク	-5:00	-14:00	★モントリオール
★シカゴ	-6:00	-15:00	★メキシコシティ
★デンバー	-7:00	-16:00	
★ロサンゼルス	-8:00	-17:00	★サンフランシスコ
★アンカレッジ	-9:00	-18:00	
ホノルル	-10:00	-19:00	
ミッドウェー島	-11:00	-20:00	
★ウェリントン	+12:00	+3:00	★フィジー
ヌメア	+11:00	+2:00	
★シドニー	+10:00	+1:00	グアム

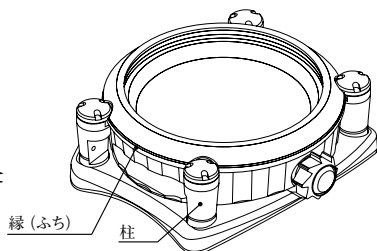
※ ★印の地域ではサマータイムが導入されています。

※ 各地域の時差及びサマータイムの有無は、2015年12月時点の情報に基づいております。これらは、国または地域の都合により変更される場合があります。

■ケース構造について

特殊なケース構造になっています。ご使用に際しては下記内容に注意し、安全な使用を心がけてください。

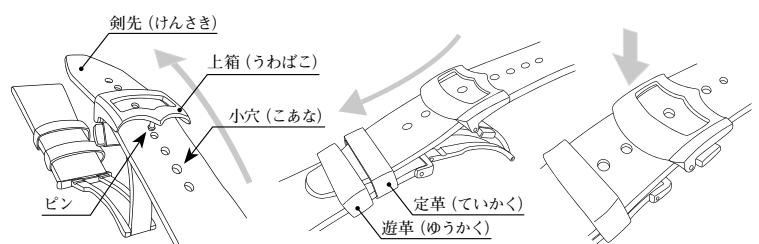
4か所にケースの縁部分を固定するための柱が立っています。



⚠注意

1. この柱を固定しているネジ、および柱の先端にある留めネジは、絶対にゆるめないでください。故障や紛失の原因になります。
※ 柱の固定や留めネジに異常を発見した場合は、お買い上げ店にご相談ください。
2. ケースは、厚く特殊な形状をしています。携帯時に他のものにつけるなどして、思わぬケガをする可能性もありますので、携帯中は十分な注意が必要です。

■レザーバンド用ワンブッシュ三つ折れ方式中留の使いかた



1. 上箱を持ち上げて、バンドの剣先 (12 時側先端) を上箱の中に通します。適当な長さのところでピンを小穴に入れて、バンドを固定します。
2. 剣先を、定革と遊革に通します。
3. 上箱をカチッと音がするまで押し、しっかりと留めます。

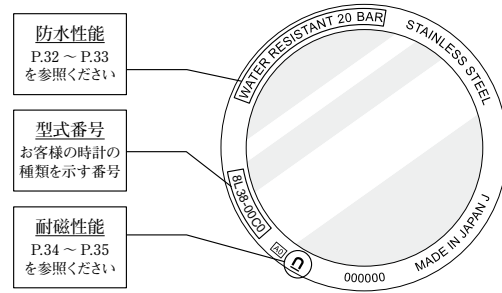
※ 装着するときは、バンドの剣先 (12 時側先端) を定革・遊革に入れた後で、中留を留めてください。

■お手入れについて

- 日ごろからこまめにお手入れしてください
 - ・りゅうずを引き出して洗わないでください。
 - ・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
 - ・海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
 - ※「非防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。
→ 性能と型式について P.31 防水性能について P.32
- りゅうずは時々回してください
 - ・りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
 - ・ねじロック式りゅうずの場合も同様です。 → りゅうずについて P.12

30

時計の裏ぶたでも性能と型式の確認ができます



31

※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

■防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を下記の表でご確認の上ご使用ください。
([P.31] をご覧ください)

裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。 警告 水泳には使用しないで下さい。
WATER RESISTANT 10 BAR	日常生活用強化防水で 10 気圧防水です。	空気ポンベを使用しないスキンドайビングに使用できます。
WATER RESISTANT 20 BAR	日常生活用強化防水で 20 気圧防水です。	空気ポンベを使用しないスキンドайビングに使用できます。

32

33

■耐磁性能について (磁気の影響)

この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気製品より 5 cm 以上遠ざける必要があります。(JIS1 種)
	磁気製品より 1 cm 以上遠ざける必要があります。(JIS2 種)

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているひげぜんまいが、外からの強い磁気の影響を受けます。

34

■時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



35

■ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間(約 10 分間: 500 ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約 3 時間~ 5 時間)発光します。光が当たらなくなつてから輝度(明るさ)は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。初めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。(目の暗順応)

※ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)塗料です。

<照度のめやすについて>

環境	明るさ(照度)のめやす
太陽光	晴れ 100,000 ルクス
	くもり 10,000 ルクス
屋内(昼間窓際)	晴れ 3,000 ルクス以上
	くもり 1,000 ~ 3,000 ルクス
	雨 1,000 ルクス以下
照明(白色蛍光灯 40W の下で)	1m 1,000 ルクス
	3m 500 ルクス(通常室内レベル)
	4m 250 ルクス

36

■アフターサービスについて

・お買い求めいただきましたガランテは、嚴重な検査・調整を行った後、お手もとにお届けしております。しかし、取扱説明書に沿った正常なご使用状態で、万が一、保証期間内に不具合が生じた場合には、保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。メーカーにて無料で修理・調整させていただきます。

・保証期間は、お買い上げ日より 2 年間です。その他の保証内容の詳細については、保証書に記載してあります。

・保証期間経過後の修理、およびガランテについてのご相談は、お買い上げ店で承っております。その他わからない点がございましたら、下記の弊社お客様相談室までお問い合わせください。

セイコーウォッチ(株) お客様相談室
ガランテ専用フリーダイヤル 0120 - 302 - 617
受付時間: 月曜~金曜 9:30 ~ 21:00
土曜・日曜・祝日 9:30 ~ 17:30

37

■補修用性能部品について

- ・ガランテの補修用性能部品の保有期間は、通常10年を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理が可能です。(補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに必要な修理用部品です。)
- ・修理可能な期間は、ご使用条件により著しく異なります。精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- ・修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。
- ・その他わからない点がございましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

38

●分解掃除による点検調整(オーバーホール)について

- ・この時計の点検、および分解掃除はメーカーにて行います。お買い上げ店には、メーカーへ依頼するようお申しつけください。
- ・長くご愛用いただくために、2〜3年に1回程度の分解掃除による点検調整(オーバーホール)をおすすめします。
※この時計のムーブメントは、機構の性質上、動力を伝達する歯車部分に常に力が加わっています。これらが正常に機能するためには、定期的な部品の洗浄、油の交換、精度の調整、機能チェック、消耗部品の交換などが大切です。
特に、お買い上げ後2〜3年目の分解掃除による点検調整(オーバーホール)を行うことが、長く使用するために重要です。
ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。また、パッキン等の部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。分解掃除による点検調整(オーバーホール)を、お買い上げ店にご指定ください。部品交換のときは、「純正部品」とご指定ください。分解掃除による点検調整(オーバーホール)の際には、パッキンやパネ棒の交換もあわせてご依頼ください。
- ・その他わからない点がございましたら、下記の弊社お客様相談室までお問い合わせください。
セイコーウォッチ(株) お客様相談室
ガランテ専用フリーダイヤル 0120-302-617
受付時間:月曜〜金曜 9:30〜21:00 土曜・日曜・祝日 9:30〜17:30

39

■メカニカルウォッチの精度について

- メカニカルウォッチの精度は「日差」です。
- メカニカルウォッチの精度は時計の姿勢(向き)によって、進み/遅れ具合が変わり、またお客様のご使用になる条件(携帯時間・温度・腕の動き・ぜんまいの巻き上げ量など)により、所定の精度の範囲を超える場合があります。
- 1日のみの誤差で判断せず1週間程度の誤差で判断するようにしてください。
- 精度の温度差
 - ・メカニカルウォッチの精度を作る部分には金属が使われています。金属の特性として、温度の変化によって伸び縮みすることは良く知られています。これが時計の精度に影響を与えます。メカニカルウォッチは高温下では遅れがちになり低温下では進みがちになります。

40

- ぜんまいの巻き具合と精度
精度を高めるためには、歯車の速度をコントロールするてんぷに規則正しくエネルギーを補給する事が重要です。メカニカルウォッチの動力源であるぜんまいは、いっぱい巻かれている状態とほどける直前の状態では力が異なり、ほどけるにしたがって力が弱くなっていきます。
自動巻式は頻りに携帯していただく事で、比較的安定した精度が得られます。
- 磁気の影響
外部から強い磁気の影響を受けると、一時的に精度がズレることがあります。影響の度合いによっては、部品が磁化してしまう事があります。その場合は磁気抜き等の修理が必要となりますので、お買い上げ店にご依頼ください。

41

■バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

●金属バンド

- ・ステンレスバンドも水・汗・汚れをそのままにしておくとさび易くなります。
- ・手入れが悪いとかぶれやワイシャツの袖口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ・水や汗・汚れは、早めに柔らかな布で取り除いてください。
- ・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシ等で取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように台所用ラップなどで保護しておきましょう)

42

●皮革バンド

- ・水や汗、直射日光には弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ・水がかかった時や汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで吸い取るように軽く拭いてください。
- ・直接日光にあたる場所に放置しないでください。

- ・色味の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- ・時計本体が日常生活強化防水(20気圧防水)になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、入浴中や水泳、水仕事などでのご使用はお控えください。

●ポリウレタンバンド

- ・光で色が褪せたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- ・特に半透明や、白色、淡色のバンドは、他の色を吸着し易く、また変色をおこします。
- ・汚れたら水で洗い、乾いた布で良く拭き取ってください。(時計本体は水にぬれないように台所用ラップなどで保護しておきましょう)
- ・弾力性がなくなり、ひび割れを生じたら取り替え時期です。

43

かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れもしくはバンドとのすれなど不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズの目安について	バンドは多少余裕をもたせ通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。

■こんな時には

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった。	ぜんまいが巻かれていない。	ぜんまいを手で巻くか、または数回振れば動き出します。それでも、動かない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
時計が一時的に進む/遅れる。	暑いところまたは寒いところに長く置いた。	精度は、常温にもどれば元にもどります。
	磁気を発生するものそばに置いた。	精度は、元にもどりません。元の精度に戻すためには、脱磁(修理)をする必要があります。お買い上げ店にご相談ください。
	落としたり強くぶついたり、または激しいスポーツをした。強い振動が加えられた。	精度は、元にもどりません。お買い上げ店にご相談ください。
日付が日中に変わる。	時刻合わせが12時間ずれている。	お買い上げ店にご相談ください。12時間、針を進めて時刻および日付を合わせ直してください。
ガラスのくもりが消えない。	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	お買い上げ店にご相談ください。

44

45

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

■製品仕様

機種種	8L38、8L36
基本機能（共通）	時間表示（時針、分針、秒針）
基本機能（8L36のみ）	24時針、日付連動式時差修正機能
振動数	28,800振動/時間（8振動/秒）
精度	日差 +15秒～-10秒 （常温5℃～35℃において）
駆動方式	ぜんまい巻（自動巻〈手巻つき〉）
使用石数	8L38：26石、8L36：27石
持続時間	最大巻上時約50時間

46

※上記精度は工場出荷時に調整されたものです。
 ※メカニカルウォッチの特性上、ご使用になる条件（携帯時間、温度、腕の動き、ぜんまいの巻き上げ量など）によっては上記精度の範囲を超える場合があります。

You are now the proud owner of a GALANTE watch. GALANTE watches are designed and manufactured to operate with extremely high accuracy by taking advantage of SEIKO'S more than 100 years of experience in watch making and the advanced technology that SEIKO can boast to the world.

To preserve the highest quality of your GALANTE watch, please read the instructions in this booklet carefully for its proper use and care, and keep this booklet for ready reference.

※ Length adjustment service for metallic bands is available at the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
 The service may also be available on a chargeable basis at other retailers, however, some retailers may not undertake the service.

CONTENTS

■ Handling cautions	50	■ Magnetic resistance	80
■ Characteristics of mechanical watches (automatic winding model)	54	■ Examples of common magnetic products that may affect watches	81
■ Names of the parts	56	■ Lumibrite	82
■ Crown	58	■ Remarks on after-sales servicing	83
48 ■ How to use the automatic mechanical watch	59	■ Remarks on replacement parts	84
■ How to use (for Cal.8L38)	61	Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul)	84
■ How to use (for Cal.8L36)	62	■ Accuracy of Mechanical Watches	86
■ Structure of the case	74	■ Band	88
■ How to use the three-piece foldover clasp for a leather band	75	■ Troubleshooting	90
■ Daily care	76	■ Specifications	92
■ Water resistance	78		

■ Handling cautions

50

⚠ WARNING To indicate the risks of serious consequences such as severe injuries unless the following safety regulations are strictly observed.

- Immediately stop wearing the watch in following cases.
 - If the watch body or band becomes edged by corrosion etc.
 - If the pins protrude from the band.
- ※ Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
- Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children. Care should be taken to prevent a baby or a child accidentally swallowing the accessories. If a baby or child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor, as it will be harmful to the health of the baby or child.


⚠ CAUTION To indicate the risks of light injuries or material damages unless the following safety regulations are strictly observed.

- Avoid the following places for wearing or keeping the watch.
 - Places where volatile agents (cosmetics such as polish remover, bug repellent, thinners etc.) are vaporizing
 - Places where the temperature drops below 5°C or rises above 35°C for a long time
 - Places of high humidity
 - Places affected by strong magnetism or static electricity
 - Dusty places
 - Places affected by strong vibrations
- If you observe any allergic symptoms or skin irritation Stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist
- Other cautions
 - For adjusting the length of the metal bracelet, specialized knowledge and expertise are necessary. Therefore, in such a case, contact the retailer from whom the watch was purchased. If you attempt to adjust the metal bracelet, injury may occur to your hand or fingers, or parts of the bracelet may be lost.
 - Do not disassemble or tamper with the watch.
 - Keep the watch out of the reach of babies and children.
- Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.

51


52

⚠ WARNING




Do not use the watch in scuba diving or saturation diving. The various tightened inspections under simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on the water-resistant watch with the BAR (barometric pressure) display. For diving, use special watches for diving.

⚠ CAUTION




Do not pour running water directly from faucet. The water pressure of tap water from a faucet is high enough to degrade the water resistant performance of a water resistant watch for everyday life.


⚠ CAUTION



Do not turn or pull out the crown when the watch is wet. Water may get inside of the watch.
 ※ If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER (listed on the end of a book).



Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time. Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.



Do not wear the watch while taking a bath or a sauna. Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.

53

■ Characteristics of mechanical watches (automatic winding model)

- This is a mechanical watch that uses the mainspring as its power source.
- When starting to use a watch after it stops, turn the crown approximately 20 times by hand to wind the mainspring.
- Accuracy of mechanical watch is indicated by a daily rate (loss or gain per one day), while that of quartz watch is indicated by a monthly or annual rate.
- Accuracy of mechanical watch may slightly vary depending on the various conditions of use (such as the length of time during which the watch is worn on the wrist, temperature environment, arm movement, and winding state of the mainspring).
- When affected by a strong magnetism from outside, the mechanical watch may temporarily lose or gain time. The parts of the watch may become magnetized depending on the extent of the effect. In such a case, consult the retailer from whom the watch was purchased since the watch requires repair including demagnetizing.

54

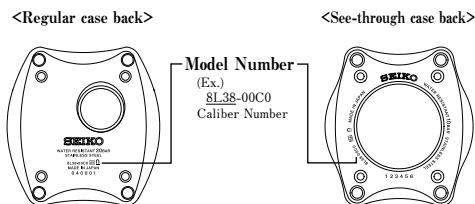
■ CHECK THE CALIBER NUMBER

● About the caliber number

The caliber number is a four-digit number that indicates the model of a movement (mechanical part of a watch). The mechanical caliber number starts with "8L" and the spring drive caliber number starts with "5R".

● How to check the caliber number

The four-digit model number on the case back is the caliber number.

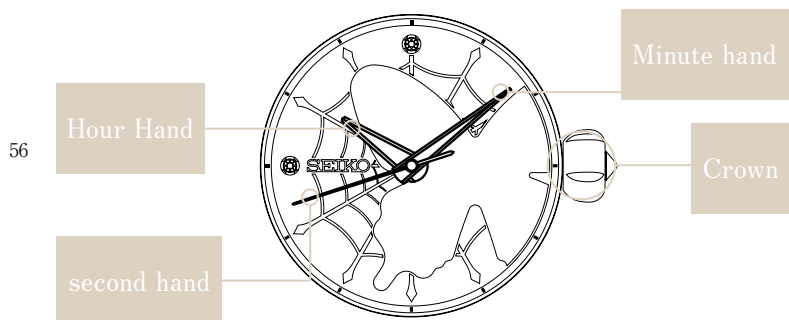


※ The above figures are examples and may differ from the figure on the case back of your watch.

55

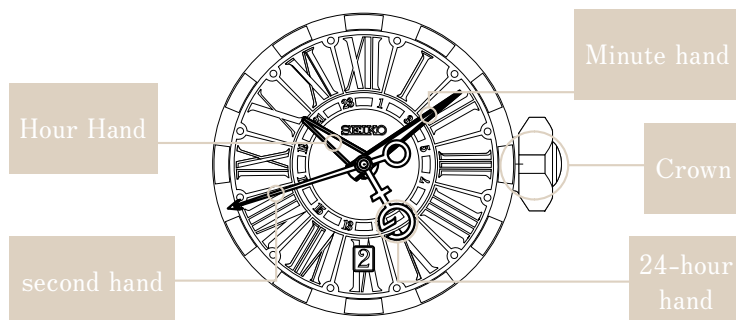
■ Names of the parts

• 8L38



56

• 8L36

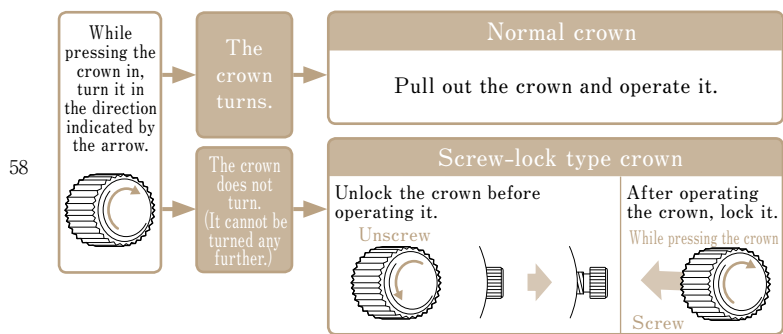


57

※ The orientation and design of the display may vary depending on the model.

■ Crown

There are two types of crowns, a normal crown and a screw-lock crown.



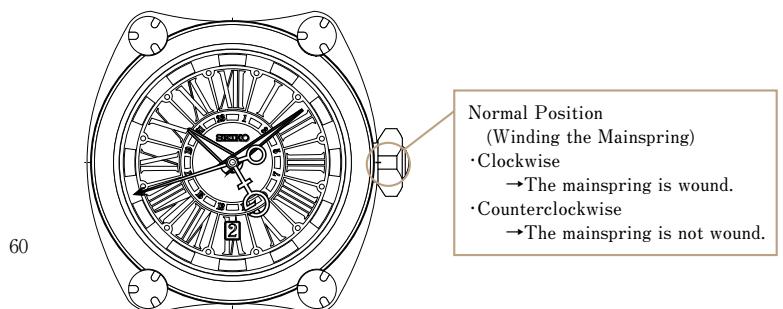
58

- ※ If your watch has a screw-lock crown, the crown screws into the watch to prevent malfunction and increase water resistance.
- ※ Be careful not to screw the crown in by force as it may damage the slots of the crown.

■ How to use the automatic mechanical watch

1. This is an automatic mechanical watch with manual winding mechanism.
2. When the watch is worn on the wrist, the mainspring is wound automatically through normal wrist movement. The watch can also be wound up by turning the crown. To do so, unscrew the crown by turning it counterclockwise.
3. To start the watch after it stops completely, wind it up either by turning the crown or swinging it from side to side until the second hand starts moving. Then, set the time and date before putting the watch on the wrist. To wind up the watch, unscrew the crown by turning it counterclockwise, and then, turn it clockwise slowly. The watch cannot be wound by turning the crown counterclockwise.
4. The watch is wound up fully. (Turning the crown further will not break the spring) Once the watch is wound up fully, it operates for about 50 hours.

59



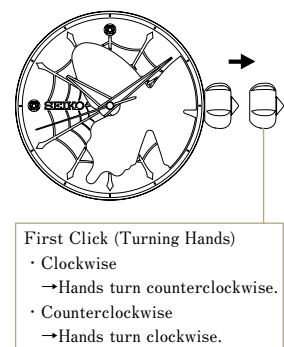
60

- ※ If the watch is used without being wound up fully, gain or loss of the watch may result. To avoid this, wear the watch for more than 10 hours a day. If the watch is used without wearing on the wrist; if it is used on the desk like a clock, for example; be sure to wind it up fully every day at a fixed time.
- ※ If you use a watch that has stopped with the mainspring unwound, winding the mainspring with the crown will not start the watch immediately. That is because the mainspring torque (force) is low at the beginning of its winding due to the characteristics of mechanical watches. The second hand starts to move when a certain degree of strong torque is reached after the mainspring has been wound up. However, swinging the watch from side to side to forcibly turn the balance can start the watch sooner.

■ How to use (for cal.8L38)

● How to set the time

1. Pull out the crown to the first click when the second hand is at the 12 o'clock position. (The second hand stops on the spot.)
2. Turn the crown to set the current time. Due to its wheel train mechanism, for setting the time of the mechanical watch correctly, the hands should be set back once slightly and then set forward to the correct time.
3. Push the crown back in to the normal position in accordance with a time signal.



61

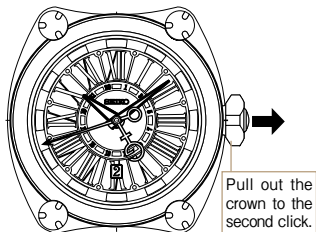
■HOW TO USE (for cal. 8L36)

●How to set the time and calendar

- To set the time and calendar, set the 24-hour hand and minute hand first, and then set the hour hand and calendar.
- When setting the time, make sure that the mainspring is sufficiently wound.

●How to set the time

- 62
1. Make sure that the mainspring is sufficiently wound and the watch is working.
 - ※ When setting the date and time, ensure that the watch is working.
 2. Unlock the crown.
 - ⇒ "How to use the screw lock type crown" page 58.
 3. Pull out the crown to the second click when the small second hand is pointing at the "0" second position. The small second hand will stop on the spot.



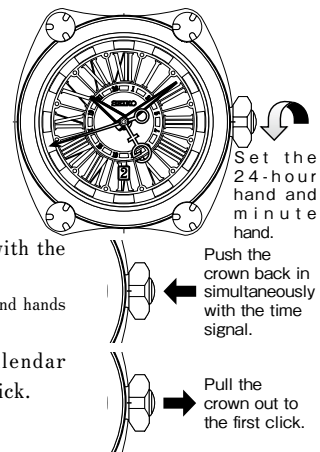
4. Turn the crown to rotate the 24-hour hand and minute hand clockwise and set them to the current time. While doing so, set the minute hand a few minutes behind the correct time, and then slowly advance it to the desired time.

- ※ Only the 24-hour and minute hands are to be set first. Even if the hour hand is indicating incorrect time, or the date may be altered depending on the position of the hour hand, it is not necessary to make an adjustment at this stage.

5. Push the crown back in simultaneously with the time signal.

- ※ The setting of the 24-hour, minute and small second hands to the current time is now completed.

6. To move on to the hour hand and calendar setting, pull the crown out to the first click.

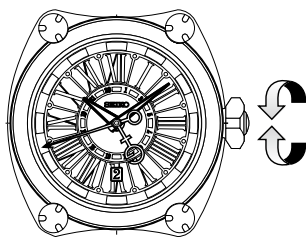


- 64
7. Turn the crown to set the hour hand. While turning the crown, the moment the date changes is midnight. When setting the hour hand, be sure that AM/PM is set correctly. Adjust the calendar also at this point if necessary.

- ※ The crown can be turned in either direction to adjust the date, however, it is recommended to turn the crown in the direction which enables you to set the date with a smaller adjustment.

- ※ Turn the crown slowly, checking that the hour hand moves in one-hour increments.

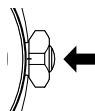
- ※ When adjusting the hour hand, the other hands may move slightly. However, this is not a malfunction.



8. Push the crown back in to complete the time setting.

Relock the crown.

⇒ "How to use the screw lock type crown" page 58.



●How to set the calendar

Two full rotations of the hour hand will change the date for one day.

The date advances one day by turning the hour hand two full rotations clockwise (for 24 hours), while the date is set back one day by turning the hour hand two full rotations counterclockwise.

※ Manual date adjustment is required on the first day after a month that has less than 31 days: February, April, June, September and November.

1. Make sure that the mainspring is sufficiently wound and the watch is working.

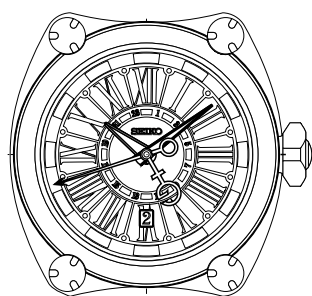
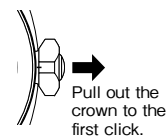
- ※ When setting the date and time, ensure that the watch is working.

2. Unlock the crown.

⇒ "How to use the screw lock type crown" page 58.

3. Pull out the crown to the first click.

4. Each time the hour hand makes two full rotations by turning the crown, the date is adjusted one day. While turning the crown, the moment the date changes is midnight. When setting the hour hand, be sure that a.m./p.m. is set correctly.



Turning the crown clockwise (upward):
Each time the hour hand makes two full rotations, the date is advanced one day.



Turning the crown counterclockwise (downward):
Each time the hour hand makes two full rotations, the date is set back one day.

66

- ※ The crown can be turned in either direction to adjust the date, however, it is recommended to turn the crown in the direction which enables you to set the date with a smaller adjustment.

- ※ Turn the crown slowly.

- ※ When adjusting the hour hand, the other hands, the other hands may move slightly. However, this is not a malfunction.

5. Upon completion of setting, make sure that the time indicated is correct, and then push the crown back in. The calendar setting is now completed. Relock the crown.

⇒ "How to use the screw lock type crown" page 58.

- ※ The calendar is designed to work in conjunction with the movement of the hour hand, therefore, incorrect setting of a.m./p.m. will cause the date to change at noon.

- ※ The crown can be turned in either direction to adjust the date, however, it is recommended to turn the crown in the direction which enables you to set the date with a smaller adjustment.

- ※ Turn the crown slowly, checking that the hour hand moves in one-hour increments.

- ※ When adjusting the hour hand, the other hands may move slightly. However, this is not a malfunction.

67

●How to use the 24-hour hand

This watch has two different types of 24-hour hand usage.

<Type 1> 24-hour hand as an a.m./p.m. indicator

Simply using the 24-hour hand to show the 24-hour time as an a.m./p.m. indicator. (This is the standard usage type for the 24-hour hand.)

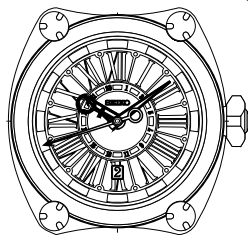
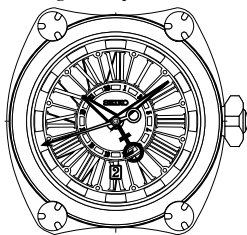
Both the hour hand and the 24-hour hand are indicating the Japan time 10:00 a.m.

<Type 2> 24-hour hand as a dual time indicator

Using the time difference adjustment function, set the 24-hour hand to indicate a time different from the time that the hour and minute hand indicate, which is of a place in a different time zone area with at least one hour of time difference from where you are.

Hour hand: Japan time 10:00 a.m.
24-hour hand: New York time 8:00 p.m.

68



●Time difference adjustment function

For example, while traveling abroad and staying in a place with a different time from where you live, you can conveniently set the watch to indicate the local time in the different time zone area without stopping the watch.

The hour hand indicates the time of the place where you currently are, while the 24-hour hand indicates the time of the place of origin.

The calendar works in conjunction with the movement of the hour hand. If the time difference is correctly adjusted, the watch displays the correct date of the place where you are staying.

●How to use the time difference adjustment function

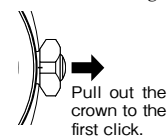
1. Make sure that the mainspring is sufficiently wound and the watch is working.

- ※ When setting the hour hand to use the time difference adjustment function, ensure that the watch is working.

2. Unlock the crown.

⇒ "How to use the screw lock type crown" page 58.

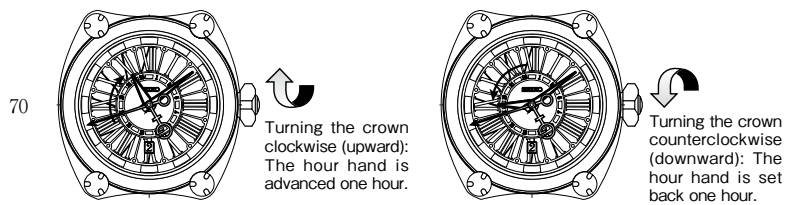
3. Pull out the crown to the first click.



69

4. Turn the crown to set the hour hand to indicate the time of the place where you are staying. Make sure that a.m./p.m. and date are correctly set.

- ※ The calendar is designed to work in conjunction with the movement of the hour hand, therefore, incorrect setting of a.m./p.m. will cause the date to change at noon.
⇒ "List of time zone differences in major regions of the world" page 72.



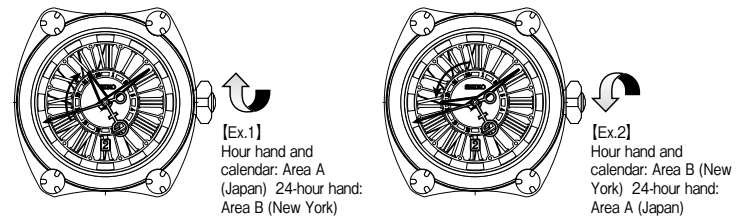
- ※ The crown can be turned in either direction to adjust the time, however, it is recommended to turn the crown in the direction which enables you to set the date with a smaller adjustment.
- ※ Turn the crown slowly, checking that the hour hand moves in one-hour increments.
- ※ While turning the crown, the moment the date changes is midnight.
- ※ When adjusting the hour hand, the other hands may move slightly. However, this is not a malfunction.

5. Upon completion of setting, make sure that the time indicated is correct, and then push the crown back in. The setting procedure is now completed. Relock the crown.

- ⇒ "How to use the screw lock type crown" page 58.
- ※ If you set the time during any time between 9:00 p.m. and 1:00 a.m., temporarily set the hour hand back to 8:00 p.m., and then set the time.

● Selectable display mode

With the time difference adjustment function, the watch features a dual time display which shows time in two different time zones. It offers two display modes which you can select to suit your needs and preference.



Set the 24-hour hand first, and then set the hour hand.

■ List of time zone differences in major regions of the world

Names of the cities	UTC ± (Hours)	JST ± (Hours)	Other cities in the same region
Tokyo	+ 9:00	± 0:00	Seoul
Beijin	+ 8:00	- 1:00	Hong Kong, Manila, Singapore
Bangkok	+ 7:00	- 2:00	Jakarta
Dacca	+ 6:00	- 3:00	
Karachi	+ 5:00	- 4:00	Tashkent
Dubai	+ 4:00	- 5:00	
Jeddah	+ 3:00	- 6:00	Nairobi, Mecca
Cairo	+ 2:00	- 7:00	★ Istanbul, ★ Athens
★ Paris	+ 1:00	- 8:00	★ Rome, ★ Berlin, ★ Madrid
★ London	± 0:00	- 9:00	★ Casablanca
★ Azores	- 1:00	- 10:00	
★ Rio de Janeiro	- 3:00	- 12:00	Santiago
★ Santo Domingo	- 4:00	- 13:00	

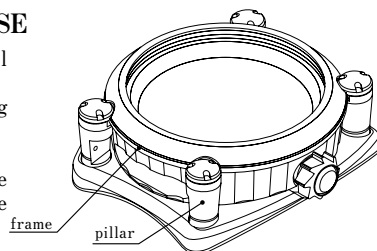
★ New York	- 5:00	- 14:00	★ Montreal
★ Chicago	- 6:00	- 15:00	★ Mexico City
★ Denver	- 7:00	- 16:00	
★ Los Angeles	- 8:00	- 17:00	★ San Francisco
★ Anchorage	- 9:00	- 18:00	
Honolulu	- 10:00	- 19:00	
Midway Island	- 11:00	- 20:00	
★ Wellington	+ 12:00	+ 3:00	★ Fiji
Nouméa	+ 11:00	+ 2:00	
★ Sydney	+ 10:00	+ 1:00	Guam

- ※ UTC = Coordinated Universal Time / JST = Japan Standard Time
- ※ Regions marked with ★ use daylight saving time
- ※ The time zone differences and use of daylight saving time in each city are based on data as of December, 2015. These are subject to change according to the governments of the respective countries or regions.

■ STRUCTURE OF THE CASE

The case of this watch has a special structure. Take particular note of the following for safe use of the watch.

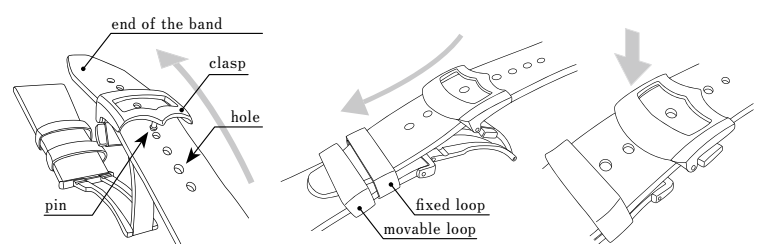
The four pillar case screws are mounted in order to support the frame of the case.



⚠ CAUTION

- Never loosen the screws that are used to fix the pillar screws or setscrews that are tightened at the tip of the pillar screws. Doing so may cause damage or result in loosening them.
※ If the pillar screws become loose or the setscrews are not securely tightened, consult the retailer from whom the watch was purchased.
- The case of this watch is thick and has a unique shape. While wearing the watch, be careful not to hit the watch against other objects as this may cause you injuries.

■ HOW TO USE THE THREE-PIECE FOLDOVER CLASP FOR A LEATHER BAND



- Unfasten the clasp, and slide the end of the band (at the 12 o'clock side) into it. Fix the length of the band by placing the pin into an appropriate hole.
- Insert the end of the band into both the movable loop and the fixed loop.
- Push the clasp down until it clicks to securely fasten the band.

- ※ When wearing the watch, make sure that you insert the end of the band (at the 12 o'clock side) into both the movable loop and the fixed loop, and then securely fasten the clasp.

■ Daily care

● The watch requires good daily care

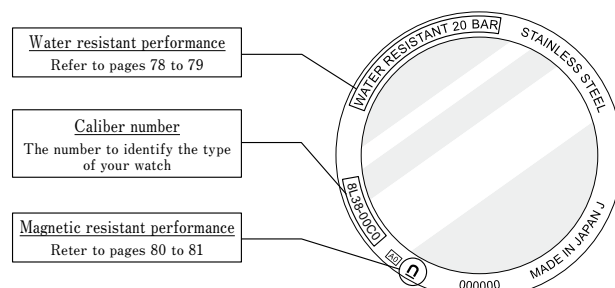
- Do not wash the watch when its crown is at the extended position.
- Wipe away moisture, sweat or dirt with a soft cloth
- To clean the clearances (around the metallic band, crown or case back), a soft toothbrush is convenient.
- After soaking the watch in seawater, be sure to wash the watch in clean pure water and wipe it dry carefully.
※ If your watch is rated as "non-water resistant" or "water resistant for daily use", do not wash the watch.
Performance and type → page 77.
Water resistance → page 78.

● Turn the crown from time to time

- In order to prevent corrosion of the crown, turn the crown from time to time.
- The same practice should be applied to a screw lock type crown. (No need to pull out the screw lock type crown.)
Crown → page 58

Performance and type

The case back shows the caliber and performance of your watch



- ※ The figure above is one example. Performance of your watch is different from above sample.

Water resistance

Refer the table below for the description of each degree of water resistant performance of your watch before using.
(Refer to "page 77")

78



Indication on the case back	Water resistant performance	Condition of use
No indication	Non-water resistance	Avoid drops of water or sweat
WATER RESISTANT	Water resistance for everyday life	The watch withstands accidental contact with water in everyday life. WARNING Not suitable for swimming
WATER RESISTANT 10 BAR	Water resistance for everyday life at 10 barometric pressures	The watch is suitable for diving not using an air cylinder.
WATER RESISTANT 20 BAR	Water resistance for everyday life at 20 barometric pressures.	The watch is suitable for diving not using an air cylinder.

79

Magnetic resistance

Affected by nearby magnetism, a watch may temporarily gain or lose time or stop operating.

80

Indication on the case back	Condition of use
No indication	Keep the watch more than 5 cm away from magnetic products.
	
	Keep the watch more than 1 cm away from magnetic products.

If the watch becomes magnetized and its accuracy deteriorates to an extent exceeding the specified rate under normal use, the watch needs to be demagnetized. In this case, you will be charged for demagnetization and accuracy readjustment even if it happens within the guarantee period.

The reason why watch is affected by magnetism

The built-in balance spring is provided with a magnet, which may be influenced by a strong external magnetic field.

Examples of common magnetic products that may affect watches



Cellular phone (speaker)



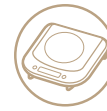
AC adapter



Bag (with magnet buckle)



AC-powered shaver



Magnetic cooking device



Portable radio (speaker)



Magnetic necklace



Magnetic health pillow

81

Lumibrite

If your watch has Lumibrite

Lumibrite is a luminous paint that is completely harmless to human beings and natural environment, containing no noxious materials such as radioactive substance.

Lumibrite is a newly-developed luminous paint that absorbs the light energy of the sunlight and lighting apparatus in a short time and stores it to emit light in the dark.

For example, if exposed to a light of more than 500 lux for approximately 10 minutes, Lumibrite can emit light for 3 to 5 hours.

Please note, however, that, as Lumibrite emits the light it stores, the luminance level of the light decreases gradually over time. The duration of the emitted light may also differ slightly depending on such factors as the brightness of the place where the watch is exposed to light and the distance from the light source to the watch.

82

Condition	Column 1	Illumination
Sunlight	Fine weather	100,000 lux
	Cloudy weather	10,000 lux
Indoor (Window-side during daytime)	Fine weather	more than 3,000 lux
	Cloudy weather	1,000 to 3,000 lux
	Rainy weather	less than 1,000 lux
Lighting apparatus (40-watt daylight fluorescent light)	Distance to the watch: 1 m	1,000 lux
	Distance to the watch: 3 m	500 lux (average room luminance)
	Distance to the watch: 4 m	250 lux

REMARKS ON AFTER-SALES SERVICING

- Your GALANTE watch was strictly checked and completely adjusted at the factory to ensure its high accuracy. However, if your watch gets out of order with the correct way of use as described in this instruction booklet within the guarantee period, take your watch to the dealer from whom your watch was purchased together with the certificate of guarantee. Repair and adjustment will be made without charge.
- The guarantee period is two year from the date of purchase. More detailed guarantee coverage is provided in the certificate of guarantee.

83

For repair services after the guarantee period has expired or for any other information regarding the GALANTE watch, please contact the retailer from whom your watch was purchased or the "CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT" of SEIKO WATCH CORPORATION.

REMARKS ON REPLACEMENT PARTS

- The number of years that a watch is considered repairable may vary greatly depending on the conditions under which it was used, and normal accuracy may not be achieved in some cases. We recommend, therefore, that you consult the retailer from whom the watch was purchased when having them repair your watch.
- The case, dial, hands, glass and bracelet, or parts may be replaced with substitutes if the originals are not available.
- For any other information, contact the retailer from whom your watch was purchased or the "CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT" of SEIKO WATCH CORPORATION.

84

Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul)

- Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) of this watch will be performed by SEIKO. When you take the watch to the retailer from whom it was purchased, request that the watch be inspected and overhauled by SEIKO.

- We suggest that you have your watch checked by SEIKO every 2 to 3 years for long-time use of your watch.

※ The movement of this watch has a structure that consistent pressure is applied on its power-transmitting wheels. To ensure these parts work together properly, periodic inspection including cleaning of parts and movement, oiling, adjustment of accuracy, functional check and replacement of worn parts is needed.

Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) within 2 to 3 years from the date of purchase is highly recommended for long-time use of your watch.

According to use conditions, the oil retaining condition of your watch mechanical parts may deteriorate, abrasion of the parts may occur due to contamination of oil, which may ultimately lead the watch itself to stop. As the parts such as gasket may deteriorate, water-resistant performance may be impaired due to intrusion of perspiration and moisture. Please contact the retailer from whom the watch was purchased for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul). For replacement of parts, please specify "SEIKO GENUINE PARTS." When asking for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul), make sure that the gasket and push pin are also replaced with new ones.

- For any questions or concerns, contact the "CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT" of SEIKO WATCH CORPORATION.

85

Accuracy of Mechanical Watches

- The accuracy of mechanical watches is indicated by the "daily rate."
 - The accuracy of mechanical watches may not fall within the specified range of time accuracy because loss/gain changes due to the position of the watch, which is dependent on the conditions of use, such as the length of time during which the watch is worn on the wrist, arm movement, and whether the mainspring is wound up fully or not, etc.
- 86
- The loss/gain of mechanical watches is not measured by a daily rate, but by daily rates of one week or so.
 - Accuracy variation according to temperature
 - The parts that compose the accuracy of mechanical watches are made of metals. It is well known that metals expand or contract depending on temperatures due to metal properties. This exerts an effect on the accuracy of the watches. Mechanical watches tend to lose time at high temperatures while they tend to gain time at low temperatures.

- Mainspring wound condition and accuracy
 - In order to improve accuracy, it is important to regularly supply energy to the balance that controls the speed of the gears. The driving force of the mainspring that powers mechanical watches varies between when fully wound and immediately before it is unwound. As the mainspring unwinds, the force weakens. Relatively steady accuracy can be obtained by wearing the watch on the wrist frequently for the self-winding type and winding up the mainspring fully everyday at a fixed time to move it regularly for the wind-up mechanical type.
- Effect of magnetism
 - When affected by a strong magnetism from outside, the mechanical watch may lose/gain time temporarily. The parts of the watch may become magnetized depending on the extent of the effect. In such a case, consult the retailer from whom the watch was purchased since the watch requires repair including demagnetizing.

87

Band (maintenance procedure)

The band touches the skin directly and becomes dirty with sweat or dust. Therefore, lack of care may accelerate deterioration of the band or cause skin irritation or stain on the sleeve edge. The watch requires a lot of attention for long usage.

● Metallic band

- Moisture, sweat or soil will cause rust even on a stainless steel band if they are left for a long time.
 - Lack of care may cause a yellowish or gold stain on the lower sleeve edge of shirts.
- 88
- Wipe off moisture, sweat or soil with a soft cloth as soon as possible
 - To clean the soil around the joint gaps of the band, wipe it out in water and then brush it off with a soft toothbrush.
(Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)

● Leather band


- A leather band is susceptible to discoloration and deterioration from moisture, sweat and direct sunlight.
- Wipe off moisture and sweat as soon as possible by gently blotting them up with a dry cloth.
- Do not expose the watch to direct sunlight for a long time.

- Please take care when wearing a watch with light-colored band, as dirt is likely to show up.
- Refrain from wearing a leather band watch other than Aqua Free bands while bathing, swimming, and when working with water even if the watch itself is water-resistant enforced for daily use (20-BAR water resistant).

● Polyurethane band

- A polyurethane band is susceptible to discoloration from light, and may be deteriorated by solvent or atmospheric humidity.
- Especially a translucent, white, or pale colored band easily adsorbs other colors, resulting in color smears or discoloration.
- Wash out dirt in water and clean it off with a dry cloth.
(Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- When the band becomes less flexible or cracked, replace the band with a new one.

89

Notes on skin irritation and allergy	Skin irritation caused by a band has various reasons such as allergy to metals or leathers, or skin reactions against friction on dust or the band itself.
Notes on the length of the band	Adjust the band to allow a little clearance with your wrist to ensure proper airflow. When wearing the watch, leave enough room to insert a finger between the band and your wrist. 

Trouble shooting

Problem	Possible cause	Solution
The watch stops operating.	The watch is not wound up sufficiently.	Turn the crown or swing the watch to wind it up. The watch will start operating. If the watch not, consult the retailer from whom the watch was purchased.
The watch gains/loses temporarily.	The watch has been left in extremely high or low temperatures for a long time.	The normal accuracy will resume when the watch returns to normal temperature.
	The watch was brought into close contact with a magnetic object.	The normal accuracy will not resume. Consult the retailer from whom the watch was purchased.
	You dropped the watch, hit it against a hard surface or wore it while playing active sports. The watch was exposed to strong vibrations.	
	The watch has not been overhauled for more than 3 years.	Consult the retailer from whom the watch was purchased.
The date changes during daytime.	A.m./p.m. is not correctly set.	Advance the hour hand for 12 hours and reset the time and date.
The glass is blurred and the blur persists for a long time.	Water got inside the watch due to the deterioration of the gasket, etc.	Consult the retailer from whom the watch was purchased.

90

91

* For the solution of troubles other than listed above, contact the retailer from

whom the watch was purchased.

Specifications

Cal.	8L38, 8L36
Common features	Time display (Hour, minute and second hands)
Extra features for Cal.8L36 only	24-hour hand, Time difference adjustment function interrelated with the day display
Vibrations per hour	28,800
Loss/gain (daily rate)	+15 -10seconds at normal temperature range (5°C and 35°C)
Driving system	Automatic winding type with manual winding mechanism
Jewels	8L38: 26 jewels, 8L36: 27jewels
Duration	Approx. 50hours

92

Note: The accuracy above is factory-adjusted.

Note: Due to the characteristics of mechanical watches, any actual daily rate may not fall within the range of time accuracy specified above dependent on the conditions of use, such as the length of time during which the watch is worn on the wrist, temperature, arm movement, and whether the mainspring is wound up fully or not, etc.

全国共通フリーダイヤル 0120-612-911

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル
〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウォッチ株式会社
<http://www.seiko-watch.co.jp/>